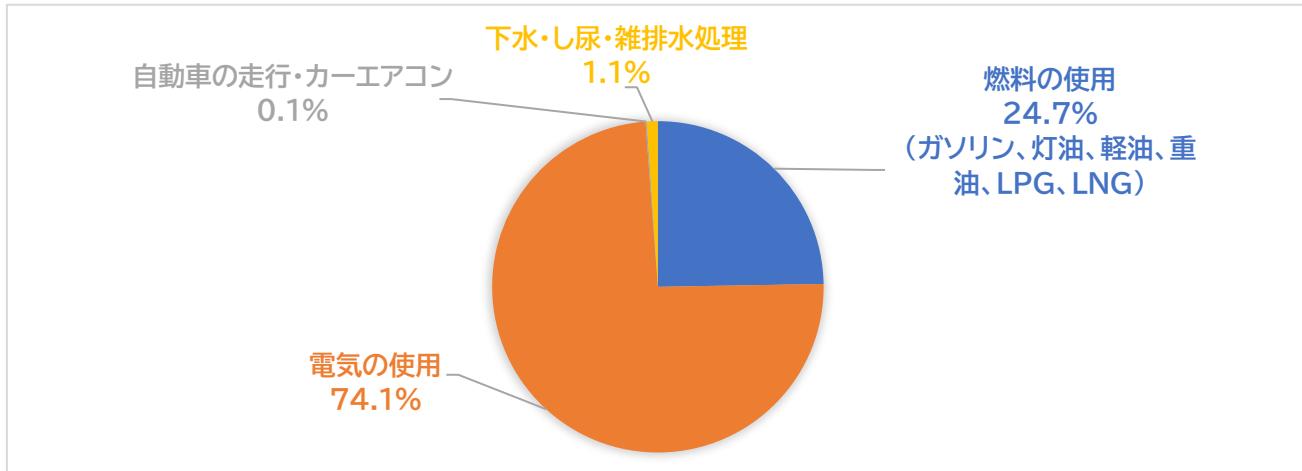


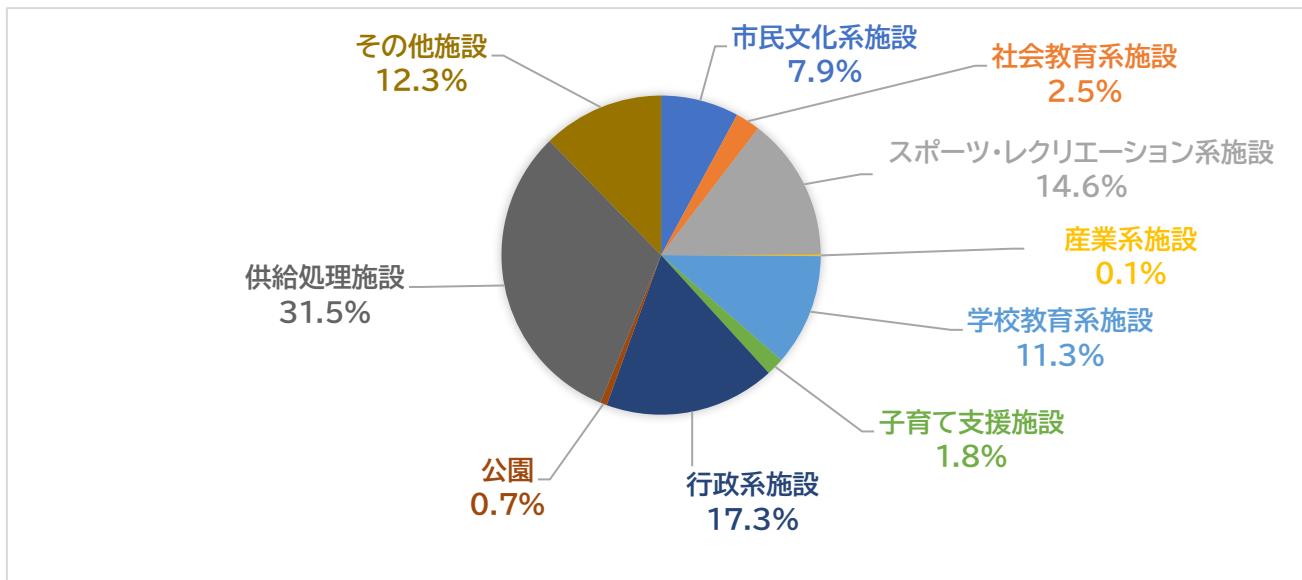
那珂市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）年次報告書【令和6年度】

1 市役所全体の排出量 5,039.1 t-CO₂ (前年度比約5.1%減)

2 エネルギー別排出量内訳

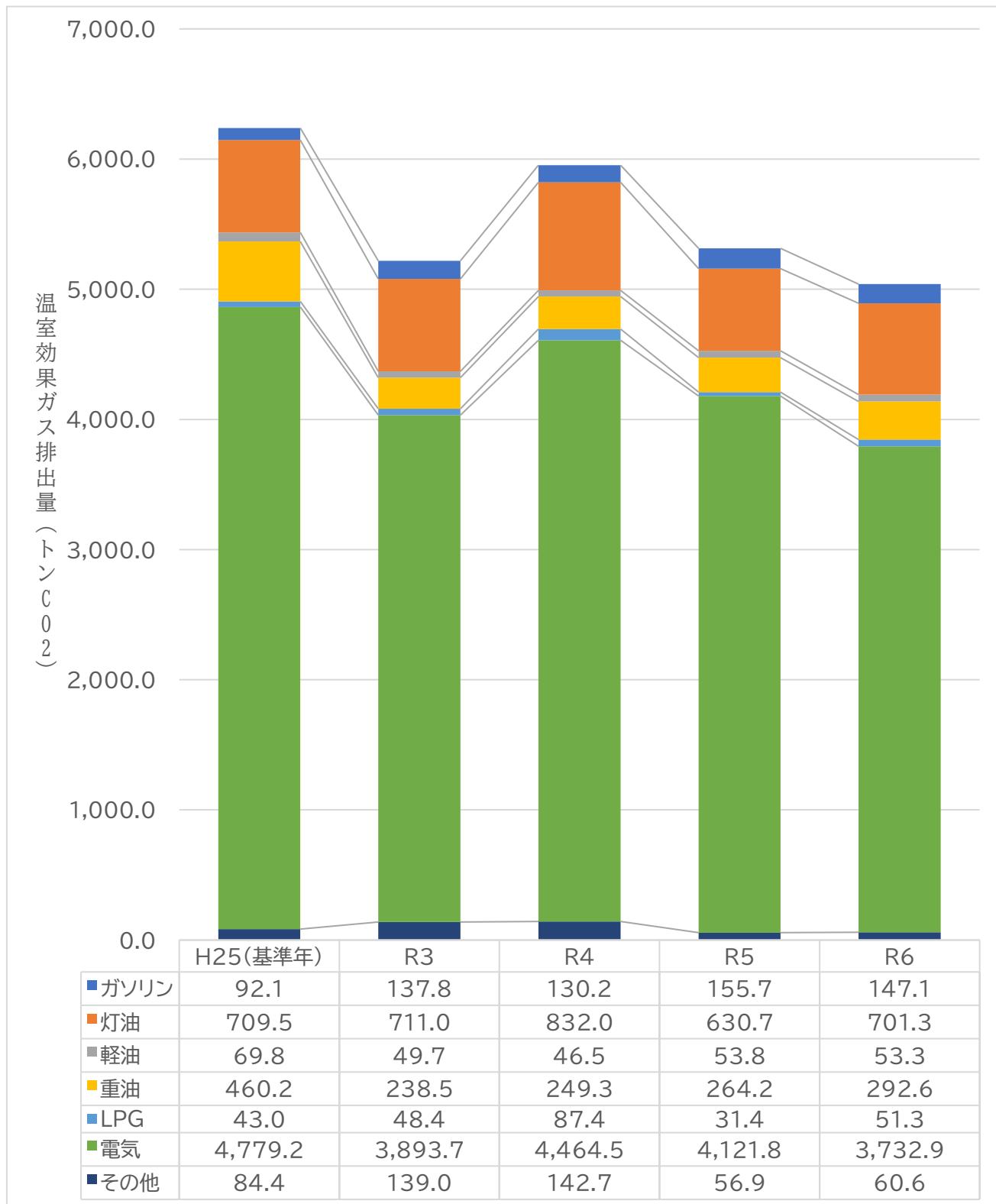


3 施設別排出量内訳



市民文化系施設	コミセン、地区交流センター、中央公民館等
社会教育系施設	図書館、歴史民俗資料館
スポーツ・レクリエーション系施設	しどりの里、総合公園、体育館等
産業系施設	農産工房、市民農園
学校教育系施設	小学校、中学校等
子育て支援施設	保育所、幼稚園等
行政系施設	庁舎、各課室事務
公園	静峰ふるさと公園、清水洞の上公園等
供給処理施設	農業集落排水処理施設、浄水場等
その他施設	墓地、給食センター等

4 二酸化炭素排出量の推移



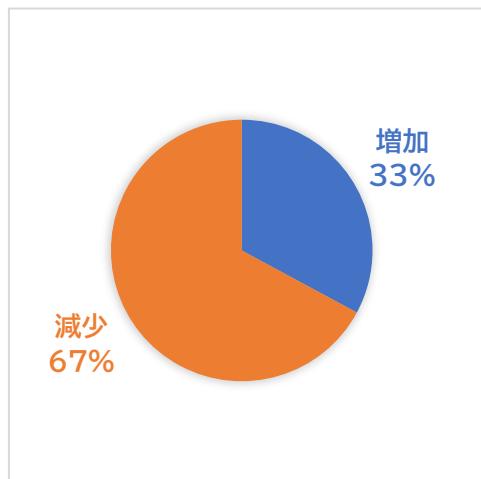
令和6年度の二酸化炭素排出量は、基準年度である平成25年度比で約19.2%減となった。また、前年度である令和5年度比で約5.1%減となった。

前年度と比べて、7項目のうち、灯油、重油、LPGは増加しているものの、ガソリン、軽油、電気の使用は減少しており、特に電気の使用が減少していることが全体的に二酸化炭素排出量が削減された要因となっている。

なお、電気については、前年度と比べて、使用量が約3.6%減となっていることに加え、算定期の排出係数が減少したこともあり、電気の使用に係る二酸化炭素排出量が約9.4%減となった。

5 前年度比で排出量が増加・減少した施設の割合

※対象施設：73



【主な増加要因】

- ・施設利用者の増加による電気使用量の増加
- ・現場対応の増加による自動車走行距離の増加

【主な減少要因】

- ・LED導入やこまめな節電による電気使用量の減少
- ・施設利用者の減少による電気使用量の減少
- ・自動車走行距離の減少

6 各職員の取組状況（アンケート結果）

【取組割合が高かったもの】（抜粋）

- ・昼休みや残業時は必要な箇所以外を消灯した。 (85.8%)
- ・可燃ごみや資源物の分別を徹底した。 (81.9%)
- ・ファイリング用品は、背表紙の入れ替えなどにより再利用した。 (75.6%)
- ・エコドライブを実践した。 (74.0%)
- ・両面印刷やNアップ印刷等により印刷枚数を削減した。 (66.4%)
- ・給湯室、会議室等は消灯し、使用の都度点灯した。 (65.0%)
- ・マイボトルやマイカップ等を使用し、使い捨て商品の使用や購入を抑えた。 (62.8%)
- ・積極的にリサイクル封筒を使用した。 (59.1%)
- ・省エネルギー型のワークスタイルを意識し、クールビズ及びウォームビズを実践した。 (55.3%)
- ・残業時間の削減と毎週水曜日のノーワークデーを心掛けた。 (51.9%)
- ・エレベーター利用を控え、最寄り階へは階段を利用した。 (51.0%)

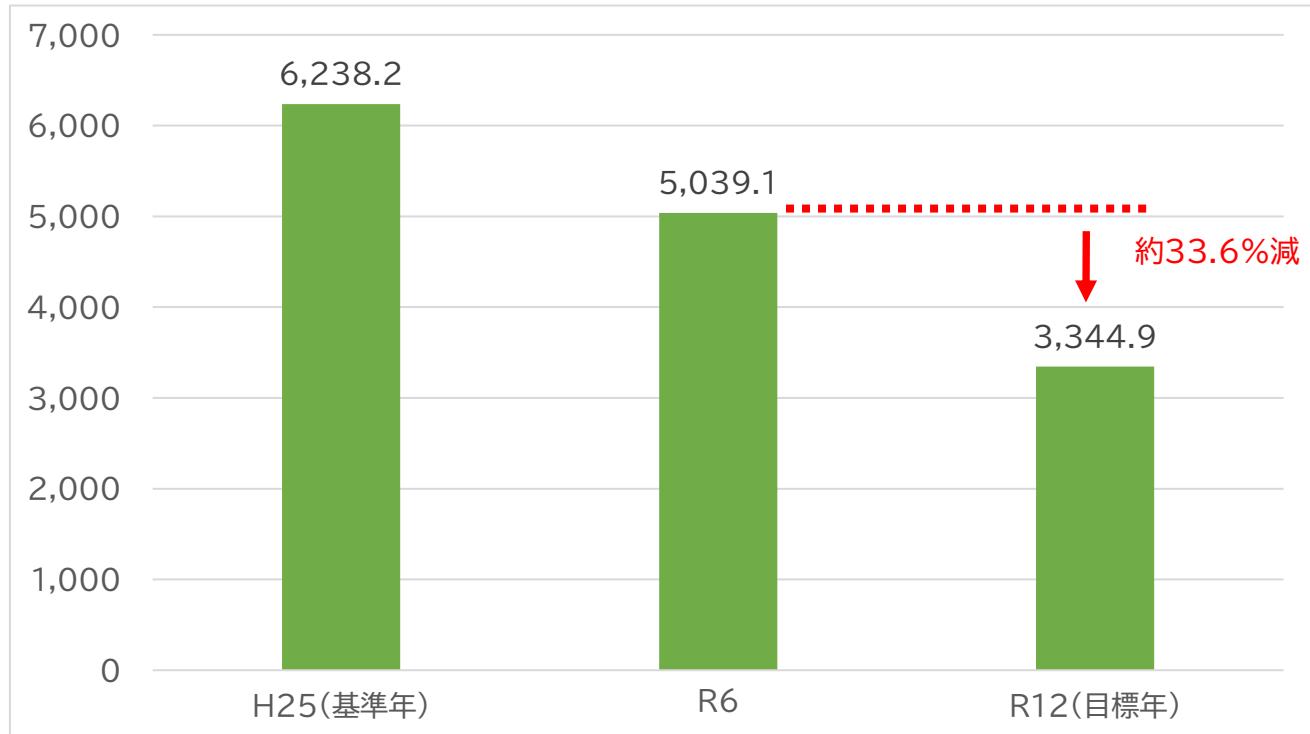
【取組割合が低かったもの】（抜粋）

- ・昼休みには、必要な機器以外の電源オフを徹底した。 (26.9%)
- ・不要となったファイル等の事務用品は廃棄せず、庁内グループウェア等で呼びかけ、必要な課室で再利用した。 (26.9%)
- ・物品の調達前に他の部署からの借用や融通が可能か検討した。 (17.4%)
- ・低燃費車を優先的に利用し、近距離の使用の場合は電気自動車を利用した。 (13.1%)

【評価】

- ・全体的に排出量の削減に向けた取組がおおむね実施されている。
- ・取組割合が高いものについては、引き続き実施するよう周知を行い、取組割合が低いものについては、意識向上の啓発等を行い割合を高めていく。
- ・他にもノーマイカーデーの実施期間拡大等を検討していきたい。

7 目標数値との比較



現状値（令和6年度）から令和12年度の目標値を達成するには、約33.6%の削減が必要となる。